

JET 活躍の現場から

兵庫県豊岡市

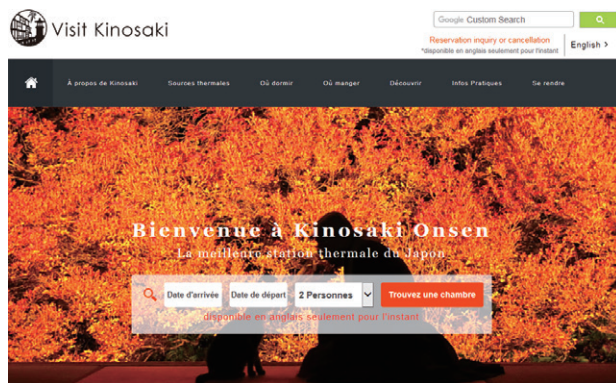
インバウンド対策で CIR を招致

日本を訪れる外国人観光客が増加の一途を辿る中、外湯巡りで有名な城崎温泉を有する兵庫県豊岡市では、外国人の誘客（インバウンド）対策の一つとして、JETプログラムのCIR（国際交流員）を2014年度より活用しています。2016年度からはCIRを2名体制にし、内1名がフランスからとなっています。海外へのプロモーションを英語だけでなく仏語でも行っており、例えば、豊岡市の海外向け観光ポータルサイト「Visit Kinosaki」(<https://visitkinosaki.com/>)の制作・改善にCIRが携わり、英語および仏語で城崎温泉の観光情報を外国人目線で発信しています。また、海外の旅行会社や航空会社への訪問、あるいは海外メディア取材の受入・アテンドなどを担うことで、豊岡市と世界を繋ぐ橋渡しをしています。

こうしたCIRの活用による情報発信に加え、地元企業と連携しての観光案内所運営やFree Wi-Fiの整備、観光客動向のデータ分析を重ねることで、2013年に9,584人泊だった城崎地域の外国人延べ宿泊者数は、2017年には4万5,107人泊にまで急増しました。

市の国際化に貢献する CIR

豊岡市でのCIRの配属先は、観光振興などを担当する大交流課ですが、他部署において通訳や翻訳が必要となる場合においてもその言語能力を発揮しています。2017年2月に東京で行われたFISA（国際ポート連盟）の臨時総会では、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン誘致にあたり豊岡市長のプレゼンテーションの通訳を務めるなど、市役所の国際業務に大きく関わっています。また、旅館パンフレットの翻訳など、市内事業者のサポートも行っており、豊岡市全体の国際化に貢献するCIRには、今後もより一層の活躍が期待されます。



仏語にも対応した海外向け観光サイト「Visit Kinosaki」



エールフランス航空（パリ）へ出張し、過去の取材の御礼と情報交換を実施（前列右側がCIR）



フランスポート連盟にプレゼンする豊岡市長の通訳（手前左がCIR）